

# ろうきん推進機構の取組

<ろうきん>には、他の金融機関にはない独自の組織があります。それが、「ろうきん推進機構」です。各労働組合の代表者で構成された自主的組織で、労働組合が取組む労働者の福祉増進活動や、組合員に対して行う日常の世話役活動の中から出てきた様々な意見や要望などを<ろうきん>とともに議論し、<ろうきん>の経営政策、商品やサービスに反映させる組織です。

東海ろうきんは、2017年度～2019年度の3か年を第8期中期経営計画期間として、同期間における生活応援運動3か年推進方針を推進機構とともに策定し活動を展開しています。

2018年度は【対話による取組・情報の共有】、【RKK(ろうきん活動計画)の推進・状況把握】、【推進会議・推進委員会の活性化】、【職場推進委員の育成と活動の活性化】を「ろうきん推進機構」の主たる役割として掲げ活動を展開しました。

今回は推進機構のトップである東海運営推進会議の森議長に、議長としての抱負、推進活動と課題、推進機構と<ろうきん>の目指すべき姿についてインタビューしました。

## 東海運営推進会議 議長としての抱負をお聞かせください。

運営推進機構には大きく2つの機能があります。1つ目は、労働組合が日常的に行う世話役活動の中から出てくる組合員の意見を、<ろうきん>に届け、商品やサービスに反映させること、2つ目は、<ろうきん>の商品だけでなく各種取組やキャンペーンを組合員に知らせ、利用を促進することです。

東海運営推進会議は、単に活動の結果報告に終始するのではなく、両者の対話により情報の共有を図り、ろうきん推進活動のリーダーとしての役割を果たさなければなりません。そのために、各地区のRKK(ろうきん活動計画)推進状況を把握し、取組内容や好適事例等を共有し、各組合の自主福祉活動に活用していくよう取組んでいます。

昨年は、労働組合が組合員に対して行う自主福祉活動において「家計の見直し運動」強化を取組み、「可処分所得の向上」の運動がうねりとなり、大きな成果を生んだと考えています。今年は「家計の見直し運動」を継続して取組み、さらに人生100年時代に備えた資産形成の重要性を訴え、ろうきんFCと連携して生涯生活設計支援の取組を進めていきたいと考えています。



東海運営推進会議  
森 崇博 議長

## 推進活動を行う中での課題と感じるものはありますか。

昔と比べて、個人主義の考え方が蔓延し、人と人との関係が疎くなってきている時代にあって、労働組合の行う世話役活動は場合によっては「おせっかい」と思われることがあるかもしれません。しかし、私たちの活動は「組合員のために」という思いに支えられており、「おせっかい」をしなければ<ろうきん>からの有益な情報や、商品、サービスを伝えることが出来ません。ろうきん推進活動は、最終的には組合員のためになることですので、ますます「おせっかい」をする場面を増やしていかななくてはならないと思っています。

これまでの諸先輩が作り上げてきたろうきん運動の原点を見失わず、語り部を数多く増やしていかなければなりません。ろうきん運動を継承し、次代に繋げていく人材の育成もお互いに抱えている大きな課題です。

また、職域だけでなく地域に暮らす勤労者にも、もっと<ろうきん>を知っていただき、利用していただく事も進めていきたいと考えています。



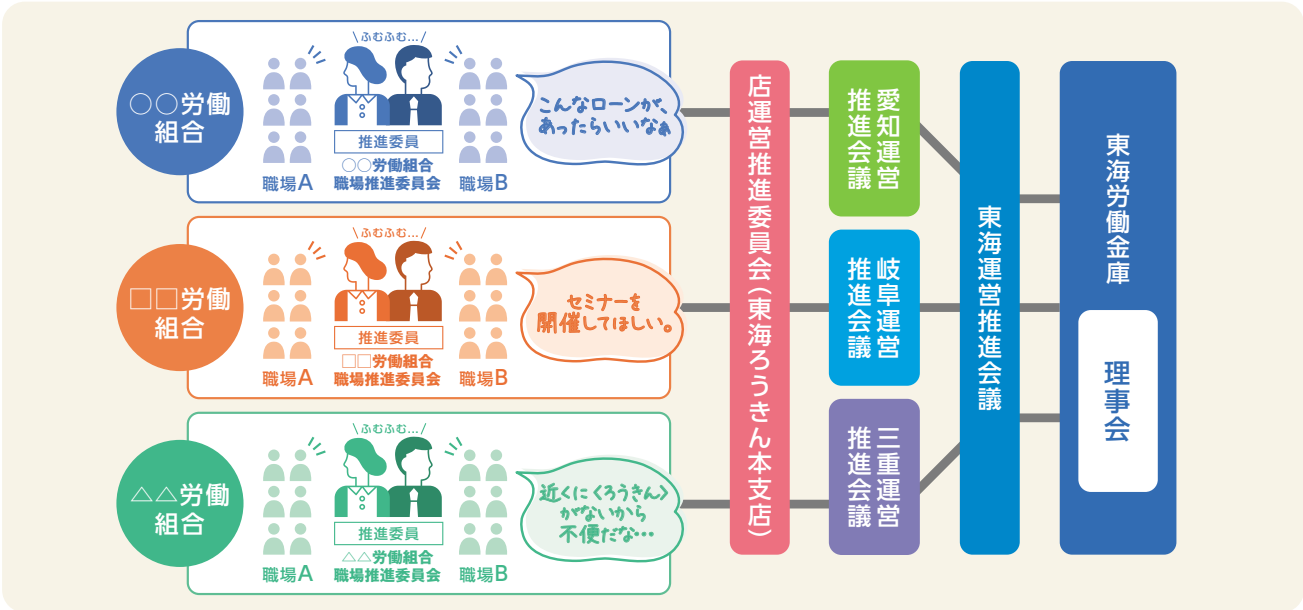
## 推進機構と<ろうきん>が目指すべき姿をお聞かせください。

<ろうきん>と労働組合は協働して連携する仲間であり、業者とお客さまの関係のような目先の利益に左右される関係であってはならないと考えています。

2019「ILOレポート」の中で、70年にわたる<ろうきん>の活動が会員組合や労福協との連携に支えられ成功につながった事が紹介され、世界に発信されました。

生活応援運動は労働組合の「世話役活動」そのものであり、ここが一番理解していただきたいポイントです。<ろうきん>には組合員の生活向上のためのカウンターパート機能を発揮してもらい、お互い切磋琢磨しながら組合員の生活向上を目指し、さらに「生活応援運動」を活性化させていきたいと考えています。

## ろうきん推進機構の仕組



## 全店運営推進委員長会議

全店の運営推進委員長が一同に会する会議です。ろうきん運動推進アドバイザーによる他のろうきん推進機構の取組紹介と、タイムリーな話題を提供いただく外部講師による講演で構成されています。  
2018年度は、以下の内容で行われました。

- 講演 1: 「**しって、つかって、広めて、ろうきん ～すべての組合員の幸せのために～**」  
講師: ろうきん運動推進アドバイザー 小林 直樹 氏
- 講演 2: 「**人生100年時代を見据えた資産形成について**」  
講師: 株式会社フィナンシャル・ラボエグゼクティブ・マネージャー 梶川 真理子 氏

### 【ろうきん運動推進アドバイザー】とは

ろうきん運動推進アドバイザーは、全国のろうきん推進機構から選任されています。活動は労金協会および所属金庫との連携を図り、労金業態の取組む経営方針・営業推進方針に基づき、自らの経験や自金庫の推進機構の取組を活かしろうきん運動を推進機構、会員組合員へ、普及・推進することを目的とし活動しています。  
①推進機構、会員組合員へのろうきん運動の普及・推進、②会員・組合員の立場に立った、労金職員の営業力強化に向けた動機づけと意識づけ、③学校教育や消費者教育などを通じた社会的役割の発揮が主な役割です。  
東海運営推進会議からは、森議長が選任されています。

## 東海ろうきん会員研究集会

年に1回開催される集会で、毎年200名のろうきん運動に関わる皆さまに参加していただいています。  
集会は、外部講師による講演と分散会で構成され、分散会でいただいたご意見は、分散会報告として店運営推進委員会に還元し、その後の推進活動に活かしています。2018年度は以下の内容で行われました。

- 講演: 「**職場を活性化する!組合員との新しいコミュニケーションスキル**」  
講師: 篠原FP事務所 代表 篠原 充彦 氏
- 分散会: 第 1～第 5分散会 「ろうきんとの生涯取引について」  
第 6～第10分散会 「組合員が望むサービスについて」  
第11～第15分散会 「知らせる活動(情報伝達方法)について」



## 店運営推進委員会表彰

支店・地域のろうきん推進活動の共有化を図るとともに更なる活動の輪を広げ、新たな活動を推進していくことを狙いとしています。推進活動を具体的に進める店運営推進委員会の結束を固め、推進活動と理念を継承し、活性化を図ることを目的とした表彰制度です。  
毎年度、各地区より【優秀賞】と【敢闘賞】を選定し、8月の東海運営推進会議で確定、11月の東海ろうきん会員研究集会で表彰します。